

⑦アカマツ (栃木県庁本庁舎・昭和館)



樹種：アカマツ（赤松）【マツ科マツ属・常緑針葉樹】

北海道南部から九州の屋久島まで広く分布し、乾燥したやせ地にもよく耐え、内陸部に生える傾向があります。

材としての実用的な面だけでなく、絵画に描かれ和歌や俳句にも詠まれるなど文化の面でも身近な木です。

良好な環境のアカマツ林では、マツタケも見られます。

<出典：樹木と木材の図鑑>

<樹木の紹介>

旧庁舎（4代目県庁舎・現昭和館）の西側正面スロープに植えられていたものを新庁舎建設時に移植したものであり、旧庁舎時代の雰囲気をも今に伝えています。

所在地：宇都宮市埴田1-1-20(昭和館前右側)

